

2級 (E)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
うるしぬ	ほころ	ふれ	うすその	あやま	つむ	ひぎ	や	まゆ	らんばつ	いつぎい	ゆせい	しゅうぶん	かこん	きそう	きようりよう	せいか	おんりよう	そじよう	しゃっかん	しゅくん	ちようぼう	とばく	さんか	くんぼう	しゅうか	ふうとう	いんじゅん	ふってい	

(一) 読み (30) 1×30

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	エ	ア	イ	エ	ア	ア	オ	ウ	ウ

(三) 熟語の構成 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
頁	辛	耒	自	至	四	手	口	虜	瓦

(二) 部首 (10) 1×10

設問(三)と(四)問2はマークシート方式です。

15	14	13	12	11	問2	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1
コ	ウ	ア	オ	ク	意味	換骨	閑話	清廉	眉目	春宵	喪志	定離	壮大	息災	乱麻	書き取り

(四) 四字熟語 (30) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
懲	凝	開墾	悔恨	蜂起	放棄	症例	奨励	指紋	諮問

(六) 同音・同訓異字 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
通曉	安寧	左遷	刹那	束縛	高慢	輕侮	曖昧	充足	献上

(五) 対義語・類義語 (20) 2×10

(九) 書き取り (50) 2×25

5	4	3	2	1
遊説	焼酎	煩惱	秘奥	種苗

(下へつづく)

(八) 漢字と送りかな (10) 2×5

5	4	3	2	1
廃れ	賄っ	潰れる	厚かましい	潜ん

(七) 誤字訂正 (10) 2×5

5	4	3	2	1	
堅	提	爆	沸	類	誤
顕	呈	漠	湧	累	正

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
据	鶏口	経	奏	添	火照	虹	洪	戯	惨	泡	契	泥酔	培養	倫理	腫瘍	施錠	戦慄	剰余	霸気

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
は	と	む	か	ま	つ	た	ほ	よ	あ	り	ひ	そ	せ	だ	り	こ	ぶ	そ	は	ひ	じ	け	て	ゆ	か	せ	た	け	ば
な	だ	ね	ろ	か	ぼ	づ	た	い	わ	ょう	へ	り	つ	い	ゅう	ん	ん	う	あ	ん	ん	き	う	ん	ん	ん	ん	ん	ん
は	な	あ	ろ	な	に	な	る	い	わ	じゅう	い	く	つ	り	じん	い	けん	は	く	しゅ	ん	ぎ	ゆう	しょう	せい	さく	かん	しゃく	

1×30

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	ウ	オ	イ	エ	ア	ウ	イ	ア	ウ

(三) 熟語の構成 (20)

2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
一	行	齊	酉	么	大	采	疒	宀	石

(二) 部首 (10)

1×10

設問(三)と(四)問2はマークシート方式です。

15	14	13	12	11	問2
ク	ケ	ア	コ	ウ	意味

2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1
船	落	裂	傑	折	致	鬼	健	是	発	書き取り

(四) 四字熟語 (30)

2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
墨	炭	旋	踐	偽	犧	征	盛	肯	荒

(六) 同音・同訓異字 (20)

2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
全	仰	匹	盲	延	美	鈍	分	普	崇
治	天	敵	点	期	談	重	析	遍	拝

(五) 対義語・類義語 (20)

2×10

5	4	3	2	1	(九) 書き取り (50)
催	納	偶	拒	情	書き取り
促	涼	然	否	緒	

2×25

(下へつづく)

5	4	3	2	1	(八) 漢字と送りがな (10)
惑	悔	壊	臭	及	漢字と送りがな
わ	い	れ	い	し	

2×5

5	4	3	2	1	(七) 誤字訂正 (10)
館	響	印	捕	査	誤字訂正
棺	驚	因	保	鎖	

2×5

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
挑	恵	畝	汁	粹	乏	繰	擦	隣	接	抹	潜	教	陶	肖	散	突	密	汚	根
			粉	組					触	消	水	諭	器	像	逸	破	封	濁	拠

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
と	つ	な	か	た	く	に	よ	ゆ	あ	ご	じ	ら	ほ	き	ひ	え	け	じ	さ	か	ほ	そ	こ	け	あ	し	ふ	き	し
つ	な	え	ね	た	じ	く	こ	な	な	う	ょう	く	う	き	げ	いた	ん	ひ	く	だ	う	ぎ	とう	っ	い	う	よ	ん	

1×30

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
才	工	イ	ア	ウ	オ	エ	イ	ウ	イ	ア	ウ	ア	ウ	工
飽	浴	遭	卓	沢	託	凍	痘	陶	審	辛	申	甘	緩	冠

2×15

5	4	3	2	1
コ	工	ア	イ	ケ
鎮	威	請	隔	慕

2×5

設問(二)～(五)はマークシート方式です。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	工	ウ	オ	イ	ア	イ	ウ	エ	ア

2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	イ	ウ	イ	ア	ウ	工	ア	ア	工
才	厂	土	土	頁	斤	隶	々	心	辰

1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
勉	閉	覚	邪	技	往	暗	失	了	弟

2×10

5	4	3	2	1
捕	味	散	惜	妨
まえ	わう	らかつ	しい	げ

2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
異	満	無	引	不	悪	驚	多	昼	一
夢	帆	実	水	滅	戦	天	岐	夜	刀

2×10

5	4	3	2	1	
破	置	元	蓄	際	誤
波	致	原	畜	災	正

2×5

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
紙	忙	許	幻	雨	枯	塗	一	視	仮	鼓	伸	伐	潜	近	熱	星	極	欠	山
袋				漏			匹	聴	設	膜	縮	採	伏	郊	狂	座	秘	乏	岳

2×20

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
は	ふ	ほ	か	ま	な	お	ね	く	ま	び	ら	し	や	ろ	き	さ	す	ぼ	せ	き	よ	た	せ	ひ	し	け	ふ	ぎ	と
か	く	こ	か	ま	な	お	ね	く	ま	び	ら	し	や	ろ	き	さ	す	ぼ	せ	き	よ	た	せ	ひ	し	け	ふ	ぎ	と
か	く	こ	か	ま	な	お	ね	く	ま	び	ら	し	や	ろ	き	さ	す	ぼ	せ	き	よ	た	せ	ひ	し	け	ふ	ぎ	と

1×30

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	ウ	ア	ウ	イ	エ	イ	ア	オ	イ	オ	ア	オ	ウ	エ
欠	狩	駆	順	巡	旬	征	姓	誠	冒	帽	棒	殿	点	添

2×15

5	4	3	2	1
ウ	オ	カ	イ	ク
望	舗	却	摘	抗

2×5

設問(二)～(五)はマークシート方式です。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	ア	ウ	イ	エ	ア	オ	ウ	エ	ウ

2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	エ	イ	エ	ア	イ	ア	ア	エ	ウ
大	走	頁	四	行	鹿	日	尸	木	金

1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
栄	突	較	早	基	略	戒	重	納	止

2×10

5	4	3	2	1
試	珍	告	輝	浴
み	しい	げる	い	びる

2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
維	方	腹	同	舞	散	開	前	秋	器

2×10

5	4	3	2	1
期	取	善	坊	報
起	種	全	防	豊

2×5

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
薄	座	背	裁	悩	淡	痛	吹	鼓	仮	言	沈	北	独	連	風	微	貯	予	呼
薄	座	中	裁	悩	淡	痛	吹	動	眠	及	黙	緯	占	絡	俗	蔵	約	吸	

2×20

5級

(E)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
は	そ	ど	め	の	き		こ	い	す	け	に	あ	せ	き	ほ	ふ	か		い
ら	ら	ひ	ん	ぞ	よ	ほ	う	さ	が	ん	ゅう	や	い	ち	ね	る	じ	よ	た
		よう	みつ		うり		ちゃ	ん	た	り	し	ま	か	ょう			えん		

(一) 読み (20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
11	10	12	8	6	1	13	6	9	5

(三) 画数(算用数字) (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
カ	お	コ	け	キ	い	ウ	え	ア	き

(二) 部首と部首名記号 (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	エ	イ	ア	ウ	ア	イ	エ	ア	ウ

(五) 音と訓(記号) (20) 2×10

5	4	3	2	1
巖	染	補	忘	映
しい	める	う	れる	る

(四) 漢字と送りかな(ひらがな) (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
己	処	創	担	域	縦	段	異	縮	減

(七) 対義語類義語(一字) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
脳	射	優	磁	落	源	臨	延	宣	宇

(六) 四字の熟語(一字) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
細	裁	展	典	誠	政	値	根	穀	刻

(十) 同じ読み漢字 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	エ	ウ	ア	イ	ウ	イ	ア	イ	エ

(九) 熟語の構成(記号) (20) 2×10

5	4	3	2	1
ウ	ク	キ	ケ	カ
コ	ア	オ	イ	エ

(八) 熟語作り(記号) (10) 2×5

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
宝	納	浴	包	届	盛	保	故	訳	警	俳	専	幕	棒	郵	並	冊	窓	幼	頂
	税		装			存	障		備	句	門			便		辺			

(十一) 漢字 (40) 2×20

6級 (E)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
こ	は	た	む	い	け	そ	じ	ひ	に		せ		に	か		が	そ	は	ぎ
ば	か	が	し	と	っ	う	ゆ	た	っ	よ	っ	き	ゅう	ま	と	ん	な	か	ん
ん		や	ゃ	な	こう	ぞう	ぎょう	い	てい		ん	しょう				か	まい	が	

(一) 読み (20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
口	ク	糸	キ	ハ	イ	巾	力	之	ケ

(三) 部首名と部首 (10) 1×10

5	4	3	2	1
限	久	志	確	保
り	しく	す	かめる	つ

(二) 送りかなひらがな (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	イ	ア	イ	エ	イ	ウ	ア	エ	ウ

(五) じゅく語の構成記号 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
14	5	11	3	13	6	8	5	15	8

(四) 画数(算用数字) (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
輸	居	忘	任	独	過	因	費	液	容

(七) 対義語類義語(一字) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
識	弁	可	史	貯	犯	規	益	団	査

(六) 二字のじゅく語(一字) (20) 2×10

9	8	7	6	5	4	3	2	1
精	制	清	賛	酸	減	経	述	術

(十) 同じ読みの漢字 (18) 2×9

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ア	イ	ア	ウ	エ	ウ	エ	イ	ウ	ア

(九) 音と訓記号 (20) 2×10

6	5	4	3	2	1
ケ	ア	コ	オ	ウ	サ

(八) じゅく語作り(記号) (12) 2×6

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
損	仏	救	雑	飼	境	事	伝	豊	破	演	貿	比	勢	幹	価	困	夢	編	燃
	様	助	草	育		故	統				易				格		中		

(十一) 漢字 (40) 2×20

7級 (E)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
りようやく	こうろうしゃ	た	せんしゅ	いさ	せき	はた	たね	や	とくしゅう	なかなお	あ	かいぎ	わら	つと	いんさつ	めんせき	せいりゅう	す	まんかい

(一) 読み (20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ア	ウ	ア	ウ	イ	イ	ア	ア	イ	ウ

(三) 漢字えらび(記号) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
く	かねつ	しお	えんぶん	ねが	ねんがん	あ	にゅうよく	ま	い
わ									

(二) 読み (10) 1×10

5	4	3	2	1
副	健	欠	然	敗

(六) 対義語(一字) (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	ア	イ	イ	ア	イ	ア	イ	ア	ア

(五) 音読み・訓読み(記号) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
総画数					何画目				
12	10	6	9	5	8	10	9	7	5

(四) 画数(算用数字) (10) 1×10

ウ			イ			ア			
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
続	結	終	約	芸	芽	英	器	周	司

(八) 同じ部首の漢字 (20) 2×10

7	6	5	4	3	2	1
浅く	伝える	戦う	治まる	量る	改める	借りる

(七) 漢字と送りかな(ひらがな) (14) 2×7

五		四		三		二		一	
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
才	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	エ	ウ	才

(十) 同じく語作り(記号) (20) 2×10

8	7	6	5	4	3	2	1
観	管	底	低	街	害	鏡	共

(九) 同じ読み漢字 (16) 2×8

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
好	的	倉	照	残	冷	信	録	類	差	散	飛	覚	材	徳	児	輪	兆	辺	昨

(十一) 漢字 (40) 2×20

2024年度 第2回 日本漢字能力検定 標準解答(こたえ)

検定日 2024年10月12日

（社）日本漢字能力検定協会

(一) つぎの線の漢字の読みがなを線の右に書きなさい。

30 1X30

- 1 野原一面にコスモスがさく。
2 神社の祭りに出店がならぶ。
3 川原でこみや空きかんを拾う。
4 公園の中央に花時計がある。
5 自転車のタイヤに空気を入れる。
6 本だなをきちんと整理した。
7 学級会で係について話し合った。
8 有名な昔話を紙しばいにする。
9 木の下のどんぐりが落ちていた。
10 まどを目かけてボールを投げる。
11 大ききの幸しい円を二つかく。
12 歩道橋をわたって学校に行く。
13 広々とした草地に羊を放す。
14 ゴールを指してけんめいに走る。
15 歌を歌いながら山に登った。
16 家族のたん生日を手帳に記入する。
17 そろばんのしけんを受ける。
18 歯をくいしばってつなを引く。
19 今週は階だんのそうじ当番だ。
20 二十四色の色えん筆をもらった。

医 期 味 泳 庫
次 返 童 習 持
(2) (10) (7) (5) (3)
(6) (7) (12) (11) (9)

(二) つぎの漢字の太いところは、何番めに書きますか。○の中に数字を書きなさい。

(四) おなじなかまの漢字を□の中に書きなさい。
(一) 練 習 終 点
(二) 運 動 会 進 む
(三) 空 港 多数 決
(四) 急 ぐ ため 息
(五) 安 定 実 行

(三) (一) (二) (三) (四) (五) (六) (七) (八) (九) (十) (十一) (十二) (十三) (十四) (十五) (十六) (十七) (十八) (十九) (二十) (二十一) (二十二) (二十三) (二十四) (二十五) (二十六) (二十七) (二十八) (二十九) (三十)

(五) つぎの(一)～(六)の中に漢字を書きなさい。
(一) 本を読んだ感(想)をノートに書いた。
(二) お楽しみ会のげきの(相)談をする。
(三) テストの間(題)用紙が配られた。
(四) 時(代)げきのさつえいを見学する。
(五) 雲が広がり、太(陽)が見えなくなる。
(六) 畑(仕)服のボタンが取れそうだ。
(七) 交通じこによる(死)者の数がへった。
(八) 鳥が空を自(由)にとび回る。
(九) (遊)園地でお化け屋敷に入った。
(十) つぎの線のカタカナを○の中の漢字で置きかえなさい。
(十一) オオキイ花がさく。
(十二) 谷川の水が音を立ててナガレル。
(十三) 電気を消すと室内がクラクになった。
(十四) 商店がいて大売り出しがハジマル。
(十五) 明日は六時にオキルつもりだ。
(十六) 学校のままりをしつかりマモル。

(七) つぎの線の漢字の読みがなを線の右に書きなさい。
(一) つくえの上に世界地図を広げる。
(二) ニュースで世の中のできごとを知る。
(三) 先生がみんなの意見を黒板に書く。
(四) のこぎりて板を半分に切る。
(五) 旅行かばんに着がえを入れる。
(六) 旅先から友だちに絵はがきを送る。
(七) 自分の短所を直す努力をする。
(八) 教科書にのっている短い詩をおぼえた。
(九) 去年の夏から金魚を飼っている。
(十) 台風が去って青い空が広がった。
(十一) 雨がふっていたので、体育館でドッジボールをした。
(十二) 一りん車に乗って右にも左にも曲がれるようになった。

(八) つぎの○の中に漢字を書きなさい。
(一) 新しくできたレストランに長い(列)を作っていた。
(二) 庭の花だんにチューリップの(球)根を植える。
(三) ホテルのまどから(湖)をながめた。
(四) 遠足のとき、グループごとに(写)真をとってもらった。
(五) 4名たんでいが(主)人公の(物)語をむちゅうになって読んだ。
(六) 母は食後に、かぜの(薬)を(飲)んでいた。
(七) タイムを(秒)でもちぢめようと(全)力であつた。
(八) ゴールまで(身)長と(重)をはかって(記)ろくする。
(九) (客)が(飲)んで(全)力であつた。
(十) (飲)んで(全)力であつた。
(十一) (飲)んで(全)力であつた。
(十二) (飲)んで(全)力であつた。
(十三) (飲)んで(全)力であつた。
(十四) (飲)んで(全)力であつた。
(十五) (飲)んで(全)力であつた。
(十六) (飲)んで(全)力であつた。
(十七) (飲)んで(全)力であつた。
(十八) (飲)んで(全)力であつた。
(十九) (飲)んで(全)力であつた。
(二十) (飲)んで(全)力であつた。

○この答えを見て、書けなかったところはどこか、まちがったところはどこか、しっかりたしかめてください。
○書けなかった字や、まちがったところは、そのままにしないで、すぐに練習をして正しくおぼえましょう。

【不許複製】

おわり

(一) つぎの文をよんで、— さんの漢字のふりがなをよんで、— さんの右にかきなさい。

- 1 朝早くおきて、お父さんと公園のまわりを走った。
- 2 古いお寺のにわに、太いまつの木がある。
- 3 今日の体いくの時間は二つのチームに分かれてドッジボールをした。
- 4 親せきのお姉さんは、星の漢字をノートにくりかえし書いておぼえた。
- 6 汽てきを鳴らして、船がみなどを出ていく。
- 7 弟のわらっている顔を画用紙いっぱいにかいた。

(二) つぎの漢字のふりがなはなんぼんにかきますか。○の中は漢字をかきなさい。

京 肉 声 北 道

前 番 記 算

冬 前 番 記 算

⑥ ③ ④ ③ ⑩

⑤ ⑩ ⑨ ⑫ ⑩ ⑭

(五) つぎの文をよんで、— さんの漢字のふりがなをよんで、— さんの右にかきなさい。

- 一日に三回、くすりをのむ。
- 友だちとこまを回してあそぶ。
- キャンプの計画を立てる。
- 五十メートル走のタイムを計る。
- 校長先生にあいさつをする。
- 長い石だんをゆっくり上げる。
- えきの売店で牛にゅうを買う。
- やきたてのパンを売っている。
- 馬車から王さまがおりてきた。
- 生まれた子馬が立ち上がる。

(六) つぎの漢字のふりがなをよんで、— さんの右にかきなさい。

くじびき

1 くじ引き

2 多ふだ

1 来月

2 半月

1 名ふだ

2 多ふだ

(八) つぎの漢字のふりがなをよんで、— さんの右にかきなさい。

体 心 肉 魚

父 母 強 弱

山 谷 古 新

夜 昼 思 止

1 よく晴れた青い空を

2 タごはんを食べた後、

3 川にいた白い鳥が

4 妹は毎ばんすきな

5 生活科の学しゅうで

6 森を歩いているとき、

7 台どころへはこんだ。

8 夕ごはんを食べた後、

9 羽を大きく広げて

10 空高くとんでいった。

11 妹は毎ばんすきな

12 絵本を読んて

13 空高くとんでいった。

14 絵本を読んて

15 空高くとんでいった。

16 夕ごはんを食べた後、

17 生活科の学しゅうで

18 森を歩いているとき、

19 台どころへはこんだ。

20 夕ごはんを食べた後、

21 川にいた白い鳥が

22 妹は毎ばんすきな

23 生活科の学しゅうで

24 森を歩いているとき、

25 台どころへはこんだ。

9 級 E

○この答えを見て、書けなかったところはどこか、まちがったところはどこか、しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、そのままにしないで、すぐに練習をして正しくおぼえましょう。

(不許複製)

— おわり —

1 うみべて 目をとじて  
なみの 音をきいた。

2 学校の えん足で  
山に のぼった。

3 みかんを 七つ、ふくろに  
入れた。

4 きのお 生まれた 三びきの  
犬に 名まえを つける。

5 日よう日は だん車に  
のって、となり町の  
ゆうえんちへ 出かけた。

6 カじまんの 男の人が  
大きな 石をもち上げた。

7 文しように 出でくる  
かん字を 正しく  
よむ ことが できた。

2 つぎの かん字の ふたいところは  
なんばんめにかきますか。○の  
なかに すう字を かきなさい。

耳 千 竹 校 草 円  
② ① ③ ⑥ ④ ③  
五 石 赤 先 学 足  
④ ⑤ ⑦ ⑥ ⑧ ⑦

3 つぎの ぶんを よんで、— せんのかん字の  
よみがなを — せんのみきにかきなさい。

木よう日には いしやに いく。  
木のはっぱが かせで ちる。

ねん土を ほそながく のばす。  
はたけで 土を ほりおこす。

こん虫の ずかんを かう。  
虫かごに こおろぎを 入れる。

おとうとは もうすぐ 五さいだ。  
どんぐりを 五つ ひろった。

— うらへつづく —

4 つぎの ことばの よみがなを ただし、  
ほうの ばんごうに ○をつけない。  
① ②

1 名月 ① めえげつ  
② めいげつ

2 王子 ① おうち  
② おうじ

3 一ぴき ① いっぴき  
② いっびき

4 大小 ① だいしよお  
② だいしよ

5 十円 ① じゅうえん  
② じゅうえん

5 □に ひらがなを 一字 かいて つぎの  
ことばの よみを こたえなさい。  
(れい ふじ山 …… ふじさん)

先生 …… せんせい

金いろ …… きんいろ

左足 …… ひだりあし

草はら …… くさはら

九日 …… ここのか

6 つぎの □の なかに かん字を かきなさい。  
① ②

上 …… 下  
はり …… 糸

男 …… 女  
さかな …… 貝

左 …… 右  
すわる …… 立つ

目 …… 口  
赤い …… 白い

林 …… 森  
おそい …… 早い

1 ひろい ① 田んぼで

2 村の人たちが  
いねかりを している。

2 きようしつ の 水 そうの

3 中で、めだがが

4 六びき およいで いる。

3 川の きしべで  
うちあげ 花火を

4 シヤボン 玉が 青い

5 えんぴつ ② 二本を

6 ふゆ 休みは、かぞく

7 テレビの 天気 よほうで

8 四人で スキーに いく。

9 雨が ふると いった。

10 夕が たから

11 雨

12 空へ とんで いく。

13 二本を

— おわり —

10級 E

○この 答えを見て、書けなかったところは  
どこか、まちがったところはどこか、  
しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、  
そのままにしないで、すぐに練習をして  
正しくおぼえましょう。

(不許複製)